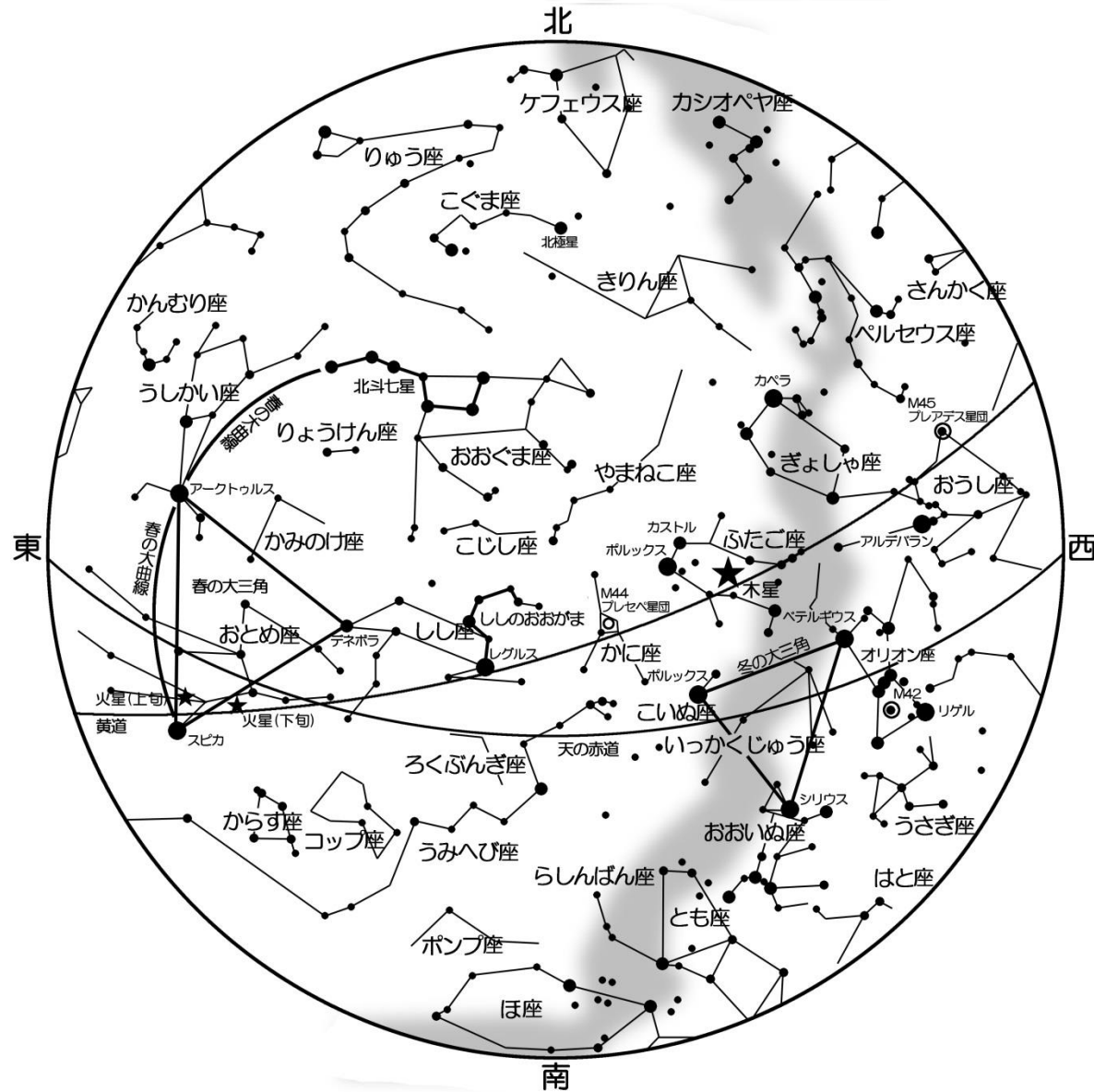


平成26年 4月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★4月の星空案内

4月の星空を眺めると、西の空には冬の星座たちが、そして東の空には春の星座たちが姿を見せています。春の星空さんぽのスタートは北の空の高いところに7つの星がちょうどひしゃく(スプーン)のような形にならんだ、みなさんよくご存知の北斗七星からです。北斗七星は1つの星座ではなく、**おおぐま座**の腰からしっぽの部分にあたります。この**おおぐま座**の頭の上には、1年中ほとんど位置が変わらない**北極星**を含む**こぐま座**が見えます。次に“北斗七星”のひしゃくの柄の部分のカーブをそのまま南にのばしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**にぶつかります。そのカーブをさらに南にのばしていくと白く美しく輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**に、さらにのびた先には、台形(少し変形した四角形)のような星の並びをした**からす座**にぶつかります。この北斗七星の柄から**アークトゥルス**、そして**スピカ**へと続くこの大きな曲線を“**春の大曲線**”といいます。春の星座探しのよい案内役になってくれますので、ぜひ本当の星空で探してみてください。

次におおぐま座から南に視線を移すと、?マークをうら返したような星の並びの**しし座**が見えます。?マークの・にあたる星が**しし座**の1等星**レグルス**です。また、この**しし座**のしっぽあたりで輝いているのが2等星の**デネボラ**です。この**デネボラ**とうしかい座**アークトゥルス**、**おとめ座**の**スピカ**を結んでできる大きな三角形を“**春の大三角**”と言います。この“春の大三角”も春の星座探しのよい目印になります。また、**しし座**のすぐ前(西側)には、真ん中に少しボートとした淡い光のかたまり(**プレセペ星団**、**M44**)を取り囲んだ暗い4つの星が四角に並んでいるかに座が見られます。

今年の4月は、南西の空に**木星**が見え、東の空から**火星**が見えてきます。季節の星座と一緒に、惑星も楽しんでみてはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星:-1.1等前後 みずがめ座→うお座付近 太陽に近くなるため、観察に適さない。
 金星:-4.2等前後 みずがめ座付近 夜明け前 東南東の空
 火星:-1.4等前後 おとめ座付近 21時頃 南東の空
 木星:-2.1等前後 ふたご座付近 21時頃 西の空
 土星:0.2等前後 てんびん座付近 23時頃 南東の空

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	金	木星が東矩(01:44)	15	火	皆既月食(16:46) 東日本で月出帯食
7	月	☾上弦(17:31)	22	火	☾下弦(16:52)
9	水	火星がおとめ座で衝(23:37)	23	水	4月こと座流星群が極大(03時頃)
14	月	火星の地球最接近(21:53)	26	土	水星が外合(09:35)
15	火	☉満月(16:42)	29	火	☉新月(15:14)